



寿都町



漁船乗船体験



外国人ツアー客（台湾）による地引き網体験

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

寿都地域マリンビジョン協議会

【寿都町】

目指せ！『寿都・後志ツーリズム交流文化圏』の形成

はじまりは？

寿都地域は、日本海に面する水産業を核とした地域で、山・川・里・海がコンパクトにまとまった自然豊かな環境ですが、若者の流出と過疎高齢化の進行、水産資源の減少、漁獲量の低迷、就業者の減少などの課題を抱えていました。

本協議会は、自然と共生した生活・文化といった漁村地域固有の資源を活かし、「水産業他既存産業との連携」、「新たな交流関連産業創出」など経済波及とともに、地域の“元気”を創出することを目的に、平成18年3月に設立されました。

おもな活動

本協議会では、漁業や海の体験交流事業に加え、優れた自然環境である寿都湾の漁場環境の維持・保全対策を進めています。

具体的には、①修学旅行生・一般客（外国人ツアー含む）を対象とした漁船乗船体験や地引き網体験、②「すつつ浜直市場」の開設と加工体験の充実（H27年、修学旅行生等1300人）による観光型漁村の形成、③修学旅行生の民泊による地元の活性化、④藻場の保全・再生や磯焼け対策としての「海の森づくり」、⑤地域景観づくりのため、国道沿いの植栽活動等を実施し、「寿都・後志ツーリズム交流文化圏」の形成（H18.3策定）を目指しています。



すつつ浜直市場の開設（H27）

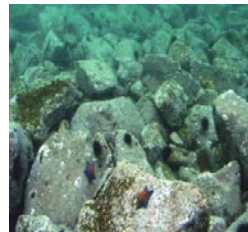


国道沿いのマリールゾールド植栽 1

ここが自慢

【漁場環境の回復への継続的な取組】

海藻が生い茂った「海の森」は、海の生物環境に最も重要であり、藻場の保全・再生、磯焼け対策として地域で発生する水産加工残渣に木材チップを混合し、ペレット化した施肥を継続（H23～）して投入しています。その結果、海域はウニやあわびが生息し藻場が再生してきています。



磯焼け現象（海の砂漠化）



磯焼け対策後、再生した海（藻場）の状況

連絡先

代表者名：木村 親志さん／設立：2006年／会員：14名

住所：寿都郡寿都町字大磯町20番地先（寿都漁協）

電話番号：0136-62-2602(担当：寿都町産業振興課 瀧山課長)

F A X：0136-62-3431

E-mail：-

U R L：-



余市町



学校開放講座「ハンギングバスケット寄せ植え講座」

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

北海道余市紅志高等学校農業クラブ

【余市町】

町民開放講座・植栽活動・販売会による地域との連携

はじまりは？

本校は、平成22年4月に後志管内初の総合学科として開校し、農業クラブは農業科目を選択した生徒全員が農業学習を深めるために組織した教科クラブです。

しかしながら、地域住民や同校内で学ぶ農業科目選択以外の生徒の農業への理解が十分ではないことから、課題解決に向け、様々な教科が展開される総合学科の特色を活かした農業クラブ活動を計画し、実践しました。

町の基幹産業である「果樹栽培」をはじめ、トマト等の「野菜栽培」、町内を彩る「草花植栽」、農産物の加工を行う「食品製造」の4部門が連携した活動を通じて、学びを深め、地域活性化や地域産業の担い手を目指して活動しています。

おもな活動

町内公共施設や駅前ロータリー、観光案内所の草花装飾を中心に「植栽活動」を実施しています。また、「町民開放講座」は農業クラブ員が講師となり、毎年5～9月末までに草花・食品製造・野菜栽培の3講座を実施し、平成27年度には累計5回で100名以上の町民が受講しました。町内外での「出前講座」も実施し、地域資源のP



出前講座「プルーンジャム製造体験」

Rや農業の理解促進に取り組んでいます。さらに、町内外でのイベントにおいて即売会に参加し、農産加工・野菜・花壇苗等の販売を7回実施しています。

2

ここが自慢

【フルーツ王国にある総合学科公立高校】

フルーツ王国余市を担う総合学科の特色を生かした農業クラブ活動として、「町民開放講座」、「植栽活動」、「販売会」の取組を行いました。

様々な世代・分野・教科との交流や連携によって多様性を身につけ、農業理解促進と地域活性化に貢献できるよう今後も活動に取り組みます。



余市駅前の植栽活動



野菜の販売会

連絡先

代表者名：校長 永井 道博／設立：2010年／会員：54名

住所：余市郡余市町沢町6丁目1

電話番号：0135-23-3191 (担当：大野 悟 教諭)

F A X：0135-23-3192

E-mail：yoichikoshi-z0@Hokkaido-c.ed.jp

U R L：http://www.yoichikoshi.hokkaido-c.ed.jp



幼児と保護者による人参収穫体験

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

ニセコ町農業青年会

【ニセコ町】

若手担い手集団による農村景観維持に向けた取組

はじまりは？

ニセコ町農業青年会は、20代から30代の若い担い手で構成されている集団で、優れた農業経営者となるため、先駆的な作物の栽培技術を学習し、幅広い視野を持った農業者を目指して積極的な活動を行なっています。

これに基づいて離農跡地等を有効活用し、農作物栽培のほか、土作りと農村景観維持のため、ひまわりを緑肥として作付けするとともに、収穫体験や農作物を町内外で直売しています。

また、新たな作物の導入を目指してサツマイモの試験栽培を平成25年から始めています。

おもな活動

離農跡地等を利用して枝豆や人参等の農作物を栽培し、土作りと農村景観維持のため、ひまわりを緑肥として作付しています。また、これらの圃場を利用して幼児と保護者を対象に人参の収穫体験を受入れるとともに、栽培した農作物を町内外で直売するなど様々な活動を通じて、美しい農村景観を維持しながら、新鮮な農産物を地域住民に提供しています。一方、平成25年からサツマイモの試験栽培を始めて、研究を重ねた結果、寒冷地での栽培方法を確立しました。さらに、平成27年にはサツマイモを使用した芋焼酎を醸造し、数量限定(1,200本)で町内の道の駅等で販売しました。3



イベントにおける農産物直売

ここが自慢

【先駆的な作物の栽培技術を学習】

本町での農業収益向上のため、新たな地域特産物の導入を目指し、平成25年から開始したサツマイモの試験栽培に当たっては、霜によるイモの腐敗が発生したため、収穫時期を早めたり、保管方法を工夫するほか、先進地である鹿児島県へ視察するなど栽培技術の研究を重ね、寒冷地での栽培方法を確立しました。

また、今年度からは、葉生姜の試験栽培の取組も開始しています。



サツマイモ焼酎



サツマイモ収穫

連絡先

代表者名：山内 洸太／設立：1990年／会員：12名

住所：虻田郡ニセコ町字富士見47番地

電話番号：0136-44-2121
(担当：ニセコ町農政課 佐藤 昌太)

F A X：0136-44-3500

E-mail：nousei@town.niseco.lg.jp

U R L：-



小樽港にて水揚げされたまぐろ

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

北海道小樽水産高等学校

【小樽市】

延縄漁業によるまぐろの漁獲・販売活動

はじまりは？

毎年、本校海洋漁業科2年生はハワイ沖でまぐろ延縄漁業の乗船実習を行い本州で水揚げをしていましたが、①少しでも地元に戻元したい。②実習の様子を知ってもらいたい。③自分達が漁獲したまぐろがどのように消費者の手に届くのか知りたい。④消費者の反応が知りたい。という観点から、平成26年度からは地元小樽港で水揚げを行い、市内の小売店でまぐろの冊の販売を行っています。

おもな活動

毎年、海洋漁業科2年生によるハワイ沖での乗船漁業実習において、延縄漁業で漁獲したまぐろを小樽港で水揚げし、その様子を地域住民に見学してもらっています。また、市内のコープ札幌2店舗の協力のもとに、商標シールの貼付や商品の陳列方法を学び、実際に接客して商品の売れ行き状況の確認等販売実習を行っています。



漁獲したまぐろと記念撮影



販売実習の様子

ここが自慢

【小樽水産高校の元気まぐろ】

乗船実習において漁獲したまぐろの販売に先立ち、ブランド化するために生徒自ら商標登録に向け名称やデザインを考案し、「小樽水産高校の元気まぐろ」という名称で認可されました。



生徒が考案し認可された商標

連絡先

代表者名：芹澤 良通さん／設立：1905年／会員：22名

住所：小樽市若竹町9番1号

電話番号：0134-23-0670(担当:平沼 裕康さん)

F A X：0134-23-4553

E-mail：otarusuisan-z0@hokkaido-c.ed.jp

URL：-



共同活動による畦畔の草刈り及び水路清掃の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

岩内東部環境保全会 【岩内町】

地域資源及び農村環境の保全活動

はじまりは？

高齢化や担い手不足によって増加している各農業者の作業負担等の軽減や離農跡地を保全することを目的に、農用地・水路等の地域資源及び農村環境保全活動を共同活動での取組として、平成26年より始めています。

おもな活動

毎年4月に作成する事業計画に基づき、町内東部地区（宮園・野東）に存在する農用地・水路・農道等の地域資源及び農村環境の保全活動を円滑に実施するため、平成26年より地域の農業者・企業・自治会等が共同で農用地等の保全活動や景観形成に取り組んでいます。



共同活動により保全された圃場

ここが自慢

【作業負担軽減と良質な作物育成】

共同活動での取組により、高齢化や担い手不足によって増加している各農業者の作業負担を軽減することで作物育成に費やせる時間が増え、当地域の主力作物である水稻を中心に良質な作物の育成と、農用地周辺の景観の保全に繋がっています。

連絡先

代表者名：本堂 秀利さん／設立：2014年／会員：15名

住所：岩内郡岩内町字高台134番地1

電話番号：0135-67-7096

(担当：岩内町企画産業課 鷺田 紀幸さん)

F A X : 0135-62-3465

E-mail : -

U R L : -



岩内町



共同活動により保全された圃場

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

岩内西部環境保全会

【岩内町】

地域資源及び農村環境の保全活動

はじまりは？

高齢化や担い手不足によって増加している各農業者の作業負担等の軽減や離農跡地を保全することを目的に、農用地・水路等の地域資源及び農村環境保全活動を共同活動での取組として、平成26年より始めています。

ここが自慢

【作業負担軽減と良質な作物育成】

共同活動での取組により、高齢化や担い手不足によって増加している各農業者の作業負担を軽減することで作物育成に費やせる時間が増え、当地域の主力作物である水稻を中心に良質な作物の育成と、農用地周辺の景観の保全に繋がっています。

おもな活動

毎年4月に作成する事業計画に基づき、町内西部地区（野東・敷島内）に存在する農用地・水路・農道等の地域資源及び農村環境の保全活動を円滑に実施するため、平成26年より地域の農業者・企業・自治会等が共同で農用地等の保全活動や景観形成に取り組んでいます。



共同活動により保全された圃場

連絡先

代表者名：長谷川 剛さん／設立：2014年／会員：23名

住所：岩内郡岩内町字高台134番地1

電話番号：0135-67-7096

(担当：岩内町企画産業課 鷺田 紀幸さん)

F A X：0135-62-3465

E-mail：-

U R L：-



赤井川村



「小さな村deレストラン」の開催

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

小さな村の農民'S 【赤井川村】

環境保全型農業の普及及び促進活動

はじまりは？

村外からの新規就農者のみで構成された団体で、自然農法や有機農法による安全安心に拘った農産物の生産及び食材を美味しく味わってほしいとの観点から、環境保全型農業の普及及び促進活動や有機農産物等の販売促進活動を、平成26年から行っています。

おもな活動

村内で有機農法等により安全安心に拘った農産物を生産していることや食材を美味しく味わってほしいとの観点から、一日限りの『小さな村deレストラン』の開催を企画し、有機農産物を使用した料理を提供し普及促進及び食育活動を通じて地域住民へのPR活動を行っており、平成26年より開催し今年で3回目となっています。

また、村内外で収穫祭等に参加し直売活動を通じて地域住民との交流を図っています。



レストラン開催の様子



収穫祭における直売の様子 7

ここが自慢

【安全安心に拘った有機農産物】

『小さな村deレストラン』の開催によって、食事の間には生産者から農産物の説明やスピーチがあり、生産者・料理人・消費者とともに赤井川産の有機農産物の魅力を再認識し、地域住民に環境保全型農業について伝える機会ができました。また、季節物の農産物のPRもでき多くの消費者との交流が図られました。



生産者による農産物の説明・スピーチの様子

連絡先

代表者名：関野 正一さん／設立：2014年／会員：4名

住所：余市郡赤井川村字赤井川74-2

電話番号：0135-34-6211
(担当：赤井川村産業課 柏谷 一樹さん)

F A X：0135-34-6644

E-mail：-

U R L：-



倶知安町



小学生親子による調理体験

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

JAようてい女性部

【倶知安町】

地域の小学生親子を対象とした料理講習会

はじまりは？

次代を担う子供達に「食農教育」の一環として、生きることの最も基本的な要素である「食」と、それを支える「農（農業）」について学び経験することを目的としています。

管内では馬鈴薯をはじめとする各種野菜が栽培されています。地元農産物を使用した「親子料理講習会」を開催することにより、地域小学生に食農教育及び地産地消を推進しており、食と農を結びつける取組を行っています。

おもな活動

JAようていは後志管内にあり、羊蹄山の伏流水を呑み込む清流尻別川の裾野の肥沃な大地には、馬鈴薯をはじめ米、大根、人参、ゆり根等の各種野菜が栽培されています。

女性部ではこの地元農産物を使用し女性部考案のレシピを活用して、地域の小学生を対象とした調理体験・試食会を内容とした「親子料理講習会」を平成23年より年1回開催しています。また、試食前には青年部や管理栄養士の野菜に関する講演を実施し、食と農の大切さを伝えています。



青年部及び管理栄養士による講演の様子

ここが自慢

【大好評な調理体験・試食会】

活動の成果として、講習会にて調理したメニューは参加者全員で試食し、「家でも作りたい」や「また参加したい」等の意見が多く寄せられています。また、活動の目的である地域小学生に食農教育や地産地消を推進しており、食と農を結びつける大変好評な取組となっています。今後はレシピ数を増やし年1回以上の開催を目標に取組の継続を図ることを考えています。



調理したメニューの試食の様子

連絡先

代表者名：荒木 順子さん／設立：2001年／会員：267名

住所：虻田郡倶知安町南1条東2丁目5番地2

電話番号：0136-21-2314
(担当：地域振興課 馬着 隆幸さん)

F A X：0136-21-2322

E-mail：-

U R L：-